

嵐山地区におけるP&CRの提案 - 観光・交通アンケートに基づいて -

京都大学大学院工学研究科 大原一也・加地淳志・長尾基哉
濱名智・牧野夏樹

背景・目的

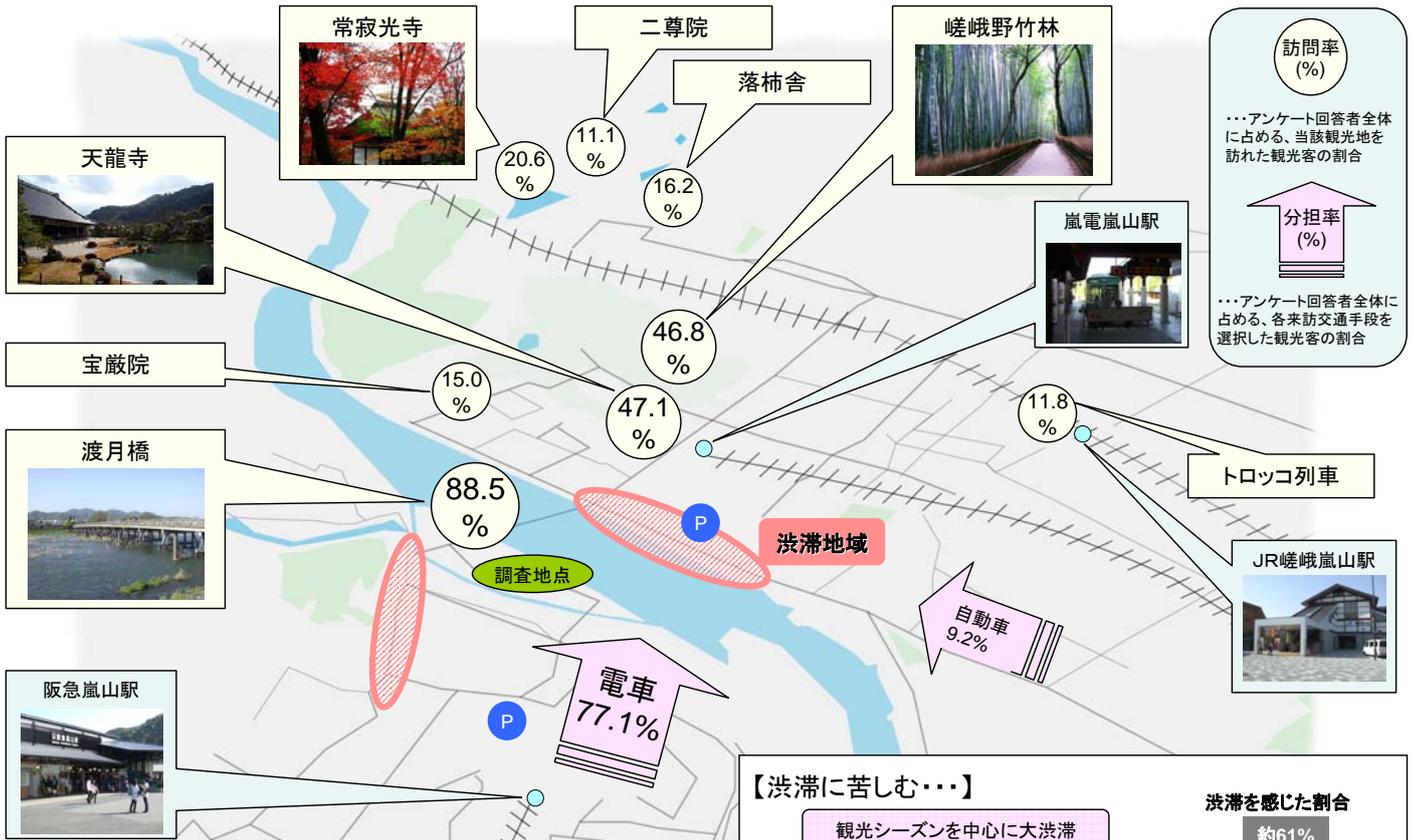
京都市北西部に位置する嵐山地区は、観光客の訪問率が清水寺に次ぐ、京都を代表する観光地区であり、春・秋の観光シーズンを中心に多数の自動車が入流する。しかし、嵐山地区周辺の道路は幅員も狭く、駐車場の容量も十分とは言えないため、周辺の交通混雑が大きな問題となっており、地域住民の生活や歩行者の安全に対して多大な影響を与えている。

そこで、この問題に対する解決策として、嵐山地区の渋滞緩和や環境負荷の低減を目的としたパーク&サイクルライド(P&CR)施策に着目し、桂川サイクリングロードを活用した複数のプランを提示した上で、観光客を対象としたアンケート調査により自家用車からP&CRに転換しうる観光客の特性を把握し、施策の導入可能性を検証する。

観光客の自動車乗り入れによる交通渋滞

観光客・住民の移動に多大な影響

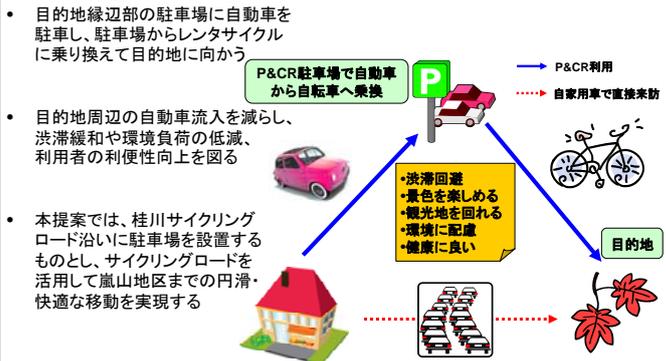
自動車流入を減少させたい！



【渋滞に苦しむ…】



【P&CR施策とは？】



【桂川サイクリングロード】

- 嵐山地区から京都府木津川市まで、桂川・木津川に沿って走る全長約45kmのサイクリングロード
- 観光客の認知度は低く、あまり利用されていない
- 沿道には松尾大社・桂離宮といった観光施設が立地

桂川サイクリングロードの認知度（観光客）



P&CR施策において活用することで桂川サイクリングロードの認知度を高め、既存の自転車道の有効活用を図る！



【アンケート調査の概要】

配布場所	嵐山公園(中之島地区・臨川寺地区)
実施期間	平成21年11月 14日(土)、15日(日)、 28日(土)、29日(日) (計4日間、各日9:00~17:00)
回答対象者	嵐山地区への観光客
配布方法	現地にて手渡しで配布
回収方法	郵送による回収
配布部数	1,400部
回収部数	592部
回収率	42.3%

調査項目

- ・個人属性に関する設問
居住地、性別、年齢、職業、運動の頻度など
- ・今回の嵐山地区への来訪に関する設問
旅行の期間、同行者数、訪問した観光施設など
- ・利用した交通手段に関する設問
利用した交通手段、その満足度など
- ・P&CRの利用意向に関する設問
4つの**仮想的なP&CRプラン**に対する利用意向

桂川サイクリング
ロードを活かした
P&CR施策の提案



プラン	所要時間	所要距離	所要料金
プラン1	10分	1.7km	1,000円/日
プラン2	20分	4.0km	1,000円/日
プラン3	30分	5.4km	1,000円/日
プラン4	60分	10.9km	1,000円/日

仮想的なP&CR
プランを提示し、
利用意向を問う

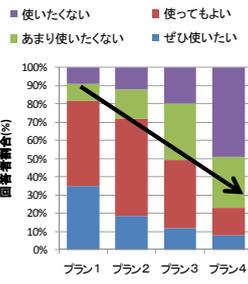
アンケート票の例

【提案するP&CRプラン】

プラン1 松尾橋付近 所要時間:10分 距離:1.7km	プラン2 西大橋付近 所要時間:20分 距離:4.0km	プラン3 桂大橋付近 所要時間:30分 距離:5.4km	プラン4 久我橋東詰公園付近 所要時間:60分 距離:10.9km
---	---	---	--

利用料金(各プラン共通)
 駐車料金:1,000円/日
 レンタサイクル料金:4人まで無料、5人目以降は1人100円/日(各プラン共通)

各プランの利用意向の比較



移動距離が長いプランほど
利用意向が低い

P&CRを利用したい理由TOP3

- 1位 景色を楽しめる
- 2位 健康に良い
- 3位 嵐山地区の観光施設を巡りやすい

P&CRを利用したくない理由TOP3

- 1位 移動に時間がかかる
- 2位 天候の変化に不安がある
- 3位 体力に不安がある

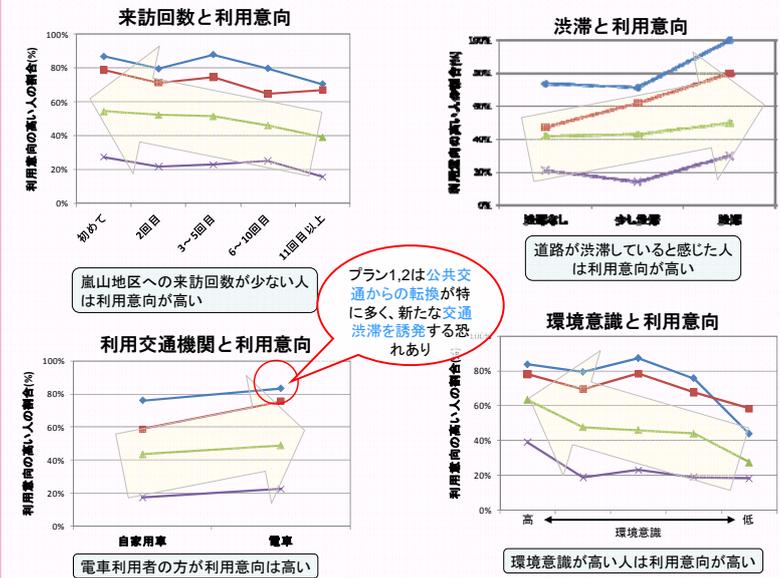
欲しい付加的サービス※TOP3

- 1位 観光情報マップの提供
- 2位 サイクリングロード上の看板・案内板の整備
- 3位 駐車場で荷物の預かりサービス

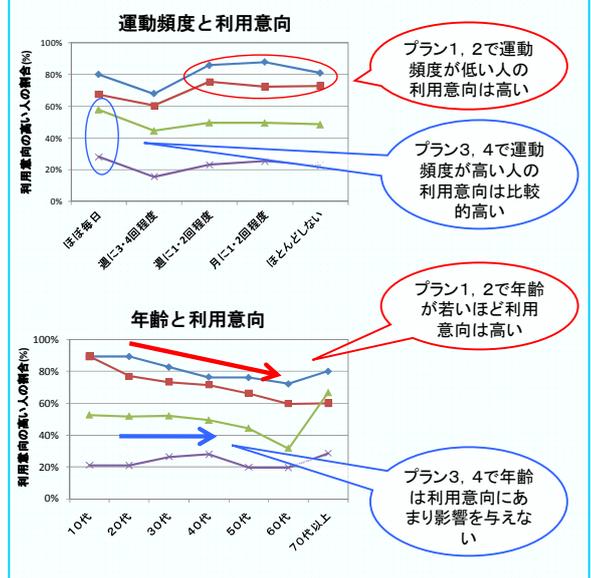
※P&CRを利用する上で、あればよいと思う付加的サービスについて尋ねた結果

【P&CRの利用者特性】

各プラン共通の傾向を示す特性



プランごとの違いが出た特性



【まとめ】

- 自転車での移動距離が長いプランほど利用意向が低い
- 各プラン共通にみられるP&CR利用者の特性
 - ・嵐山地区への来訪回数が少ない人
 - ・渋滞を感じた人
 - ・電車利用者
 - ・環境意識の高い人

- 導入可能性の高いプラン ⇒ **プラン3**
 - ・自転車での移動距離が短いプラン1・2は利用意向が高いものの、公共交通からの転換が特に多く、新たな交通渋滞を誘発する恐れがある
 - ・プラン4については移動距離が長く、利用意向が特に低い



今後の課題としては・・・
 ・今回の提案では、具体的な運営方法や採算性などを考慮していない
 ・嵐山地区へより多くの自転車が入ることによる、歩行者の危険や放置自転車の増加などが懸念される

